REPORT

H29

自活を始めた子どもに実家から送られてくる小包のように、「貴方のことを気にしています」というメッセージを食品や非常持出品とともに、多忙な施設職員に代わって送る「実家便™」事業。

多くの方に、この「実家便™」事業を紹介し、施設退所者と施設をつなぐ 架け橋ができるよう支援して参ります。

『実家便』をお受取りになられた方の「声」をご紹介します!



~「東京サレジオ学園」野口施設長からのお手紙~



今年度、初めて実家便のお話しを お聞きして、素晴らしい取り組みだ と思いました。

何人かの卒園生に声をかけたら皆、 二つ返事で大喜びで、子どもによっ ては「頑張っているといいことあるん だね。。。」としみじみと話しておりま した。

初回発送分には後回しにして自分ではなかなか買えないけれど、必要な防災 用品が入っており、とても助かりました。人間の生活の中で食はとても大切で、 心と体を支えるものですが、一人暮らしを始めて苦しくなると、我慢してしまう のも食の部分であったりもします。

学園からも卒園生からSOSがあると出来る限りの援助はしていますが、毎回出来るわけでも十分に出来るわけでも、定期的に出来るわけでもありません。ですので、この実家便という取り組みで、定期的にご支援下さるというのは卒園生にとっても私たち職員にとってもとても心強く有難いです。

私たちの学園は東京都にありますが、どの地域に生まれても子ども たちの支援に差が出来ないようになることを祈ります。

今回は誠に有難うございました。貴法人の御活動が更に発展し、 より多くの子どもたちに支援の手が行き届くことを心よりお祈り 申し上げます。

インタビロー『実家便』に、どのようなご感想・ご意見を持たれているのでしょう?



東京国際大学 人間社会学部 准教授村井 美紀 先生

今回、ご縁がありこの活動に加えていただいたのですが、当初説明だけ聞いていたときは、正直言って「ピン!」ときません

でした。なんで、施設ではない活動体が卒園生に「物」を送るのだろうという疑問がありました。しかし、実際に会議に参加し、関係者の方々の想いを伺ううちに、これは、卒園生への応援だけではなく、施設(職員)の方々の卒園生に寄せる「想い」を応援する活動なのだということに思い至りました。

施設を出た後の卒園生を想う気持ちがありながら、なかなか施設内の子どもたちのほうに手をとられる日々。そして、それを知っていて遠慮してしまう卒園生。そのような時、「実家便」を両方の想いをつなぐ道具として利用していただければ幸いです。施設(職員)の皆さん、あなた方の想いを、ぜひ「実家便」で応援させてください。



「こころの青空基金」代表 坂本博之さん

児童養護施設を卒園し自立した子ども達は、一人暮らしをしているケースが多く、生活していく上で何かと不自由があることと思います。いきなりの自活生活は、不安も大きいでしょう。そんな中この実家便が届く事は、見守られているような安心感や優しさ、温かさが込められている品々でほっと笑顔になる事でしょう。



「クリスマスヴィレッジ」青木施設長

自宅に贈り物のダンボールが届くと、私もとても期待して箱を開けます。そしてそこからなにか「温かみ」や「つながり」を一緒に受け取ります。送る側としても、無事届いたことが確認できただけで安心です。たった箱ひとつですが、人生に大きな豊かさを与えてくれるものだと思います。

September 11 Septe

に想いをのせて



あいであるのスタッフが「実家便」に込めた想いと工夫を解説します!

H28年夏の『宝家便』

緊急連絡カード

子どもたちの見守り支援

フリガナ	性制 生年月日
R8	
TEL - RIM	
住所	
緊急連絡力	
景思連絡先 (氏名)	

医療情報	nan	型 Rs+/−
HR		
常用酒		
アレルギー		
銀承保険证		

実家便™1回目の箱には、非常持出品や 長期保存ができる食品とともに、緊急連 絡カードを2枚入れています。

災害が起きた時や、急な病気など、子ど もたちが自分で状況を話せないときに役 立つものです。

緊急連絡先、医療情報などを記入して、 1枚は非常持出袋に、もう1枚は財布な どに入れて携行して欲しいと思います。 子どもたちの見守り支援のひとつです。

甘酒

日本の食文化に触れる



故郷からの小包には、 季節のもの、故郷ならで はの産物などを入れたり しますが、実家便™では 日本の食文化に触れる 食品として甘酒を入れま した。

飲む点滴と称されるほど

栄養豊富な甘酒は、江戸時代、夏の 栄養剤として飲まれていました。

甘酒は飲んだことがないという子ども が多いと思い、財団からの挨拶文でも 甘酒について触れました。

甘酒は俳句でも夏の季語になります。

やわらかまくら

夏の電気代節約に



夏を目前にして発送した実家便™に、 やわらかまくらを入れました。

冷凍庫で冷やしても硬くならない、保冷 まくらです。夏の暑さ、適度にエアコンを 使って熱中症対策をすることも必要です が、電気代の節約を考えて保冷まくらを 上手に活用してほしいと思います。

発熱の時はもちろんです。

子供たちや施設の先生 から届いたお手紙より、 感想をピックアップ!

子供たちから一言

- 「災害のニュースをテレビで見て、非 常持ち出し品を用意しないといけな いなと思っていましたが、自分で用意 するには何を用意したら良いかわから なかったので助かりました。」
- ●「自分の身は自分で守るということを 常に頭に入れて心掛けていきます。」

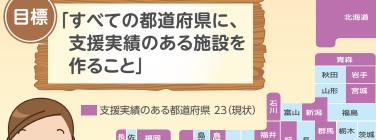
「自分では買わないものを送ってくだ さり助かりました。

♥「夏バテしないように甘酒飲んでおき ますね。」

施設の先生から一言

●「私たちの知らないところで、このよう。 な働きをしてくださり、たくさんの子 どもたちが助かっていると思います。」

活動状況と今後の目標



兵 京都 山梨 東京 千葉 静岡神奈川 香川 鹿児島 高知 徳島 利用物工工

── 財団法人あいであるの実家便™支援 ※─

児童養護施設から自活を始めた子どもにとって、自分がお世話になった施設や 職員とのつながりは、自分の出自や生育環境を理解し受容してくれる実家でも あるように思います。

子どもたちは、施設職員とのつながりが途絶えることに不安はあるものの、 困ったことではカッコ悪いから連絡できない、目の前に居る子どもたちの養育で 忙しくしているであろう職員のことを思うと軽々に連絡できない、退所した自分 のことなんて気にしてくれていないなど、自分を気にしてくれている人がいる ことを想像しにくいこともあると思います。

実家便™は、施設職員が子どもたちに連絡をする理由を持つきっかけとなる支援 です。施設退所児と施設のつながり支援のひとつとして、ご活用ください。



あいである 〒108-0014東京都港区芝5-5-1ラウンドクロス三田4F